

台湾屈指の離島「澎湖（ポンフー）」

(写真:台湾観光局/台湾観光協会)

嘉義県の西沖合にある澎湖（ポンフー）諸島。

大小約90の島々と珊瑚礁からなり、その中心が澎湖島（馬公市）です。台北・松山空港から、澎湖島の馬公空港までは、国内線で約45～50分。同日乗り継ぎも可能です。



※離島地域のため、天候によっては航空機・船便が欠航する可能性があります。ご旅行の計画の際には、ご注意ください。

澎湖本島の主な見どころ

福建と台湾本島の間に位置する澎湖は、漢民族による台湾史の上でも最も古くから作られた街。

中心である澎湖島では、台湾最古の廟と言われる天后宮を中心に名残を残しています。

山水沙灘



澎湖島の中で美しいビーチの1つ。澎湖島の各所に、こうしたビーチがあります。冬場海岸線では、緑の海藻に覆われる地帯もあり、不思議な光景を描き出されます。

玄武岩と「風櫃」



柱状の玄武岩が波で浸食してきた珍しい形状の磯で、波が岩にぶつくと雷のように音を鳴らします。潮と波の条件によっては、岩の隙間から吹き出す、波しぶきを見ることができます。

サボテンアイス



澎湖名物の1つが紅色のサボテンアイス。オランダが占拠した時代に、サボテンを持ち込み、澎湖のあちこちにサボテンが生息していますその他にも澎湖島内には、かき氷、ジュースも販売されています。ぜひ、ご賞味あれ。

二崁傳統聚落



西嶼郷の二崁村には、澎湖の伝統家屋集落が残っています。サンゴを積んで乾燥した塀や、朱色の瓦屋根。中を見学できる「陳家古厝」もあります。

南離島の主な見どころ

澎湖島の南にある離島。一般的には澎湖島から船で行く現地ツアーでの観光となります。

中社古厝



古くは清の時代以前からの伝統的な旧宅の集落がほぼ完全な形で残っている貴重なもので、50家屋程が連なり、一部の住居にはいまも人が住んでいます。

雙心石滬



石滬とはは魚を取るための人工の罟。満潮時に入り込んだ魚が、干潮時に出られなくなるように作られています。南離島にある石滬は、ダブルハート！恋人たちにも人気の観光スポットとなっています。

韓国・台湾・東南アジア専門ランドオペレーター



ハンドメイドツアー

株式会社 HMC 東京都知事登録旅行業第3-3609号・OTOA正会員

TEL.03-3831-4295/FAX. 03-5812-7085

〒110-0016 東京都台東区台東4-30-8 宮地ビル本館7F
営業時間 月～金9:30～18:00 (土日祝休業)
ホームページ <http://www.handmadetour.jp/>
メールアドレス tour@handmadetour.jp